Creative Enzymes®

クロストリジウム・サーモセルラム由来のキシログルカナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1235

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、キシログルカン特異的エンドβ-1,4-グルカナーゼ（EC 3.2.1.151）は、次の化学反□を触媒する酵素です：キシログルカン + H2O ⇌ キシログルカンオリゴ糖。したがって、この酵素の二つの基質はキシログルカンとH2Oであり、その生成物はキシログルカンオリゴ糖です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼに分類されます。
別名	xyloglucan特異的エンドβ-1,4-グルカナーゼ; EC 3.2.1.151; [(1->6)-α-D-キシロ]-(1->4)-β-D-グルカン グルカンヒドロラーゼ; XEG; XH; xyloglucanエンドβ-1,4-グルカナーゼ; xyloglucanase; xyloglucanエンドヒドロラーゼ; 1,4-β-D-グルカン グルカンヒドロラーゼ

製品情報

由来	クロストリジウム・サーモセラム F7/YS
形態	グリセロール溶液中で供給されます
EC番号	EC 3.2.1.151
分子量	82100 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	100 U/mg
濃度	175 U/ml
最適pH	7（6 - 8の範□で安定）
最適温度	60°C（65°Cまで安定）
単位定義	1単位は、50 mMリン酸緩衝液、pH 6.5、60°Cで、キシログルカンから1μmolのグルコース還元糖相当物を1分間に放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

調製方法	使用前に可能であれば、蓋からグリセロール溶液を取り除くために短時間遠心分離してください。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください（常温で発送されます）